科目名	ビジネス情報	履修学年	第３学年
		履修形態	選択
		履修単位	２単位
使用教科書（出版社）	ビジネス情報（実教出版）		
使用教材（出版社）			

学習の目標

情報通信ネットワークの導入やソフトウェアの活用に関する知識と技術を習得させ、情報を効率的に処理することの重要性について理解させるとともに、ビジネスの諸活動においてコンピュータを適切に運用する能力と態度を育てる。

教科担当者から

・授業では教科書を使用した学習だけではなく、コンピュータを使った実践的な学習を行います。
・実習については、積極的に行い、課題をきちんと提出してください。実習については、成果だけではなく過程における努力も評価します。
・９月と１月には、全国商業高等学校協会主催情報検定を受験することが可能になります。
・学校外における学修の単位認定が行われています。全国商業高等学校協会主催情報処理検定２級合格で２単位、１級で３単位が認定されます。

評価の観点・方法・割合

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
規準	ソフトウェアの活用について関心を持ち、情報を効率的に処理することの重要性を理解しようと、主体的に取り組む態度を身につける。	ソフトウェアの活用に関し適切に判断し、表現する態度を身につけるとともに、ビジネスの諸活動においてコンピュータを活用することを目指して思考を深めることを身につける。	ソフトウェアの活用に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動におけいてコンピュータを適切に運用する技能を身につける。	ソフトウェアの活用に関する知識を身につけ情報を効率的に処理することの重要性について理解することができる。	
方法	※　◎は観点の中でより重視するところです。				
学習の状況の観察	◎				
実技の取り組み	○	○	◎		
提出物	○	◎	○		
実技課題		○	◎	○	
定期考査		○	◎	◎	
割合	15%	15%	30%	40%	

評価の基準　※ 満点を100点としたとき

5	4	3	2	1
８２％程度以上	６８％程度以上	４８％程度以上	３０％程度以上	３０％程度未満

学習内容

学期	月	単元名／学習内容	学習のねらい	評価の観点 関	思	技	知		時間
前期	4	1　ビジネスと情報 １節 ビジネス文書と表現 ２節 ネットワークとビジネス	現代のビジネスの実例を通して、ビジネスにおけるＩＣＴ活用の基礎知識を学習する。	○			○		5
	5・6	2　情報通信ネットワークの活用 １節　ネットワークの基礎 ２節　ネットワークの構築と管理 ３節　サーバ管理 ４節　セキュリティ管理 前期中間考査	ネットワークの構築についての基礎知識から、構築に必要なネットワークの設定方法、サーバ管理やセキュリティ管理などについて学習する。		○	○			10
	7 8 9	3　表計算ソフトウェアの活用 １節　集計処理 ２節　オペレーションズリサーチの基礎 ３節　ビジネス計算 ４節　手続きの自動化 〈言語活動〉 自動化の手順などを説明する 個人発表・グループ発表	表計算ソフトウェアを活用して、さまざまな情報を管理、分析、活用し、業務に役立つ合理化や自動化について学習する。			○	○		16
後期	10 11	4　データベースソフトウェアの活用 １節　ビジネス情報とデータベース ２節　データベースの利用 ３節　ＳＱＬの操作 後期中間考査	ビジネス活動に利用されている身近なテーマをもとに、データベースソフトを活用して、データベースの検索機能やデータベースを操作するためのＳＱＬ言語を学習する。	○			○		18
	12 1	5　ソフトウェアを活用したシステム開発 １節　システム開発の基礎 ２節　アルゴリズムの基礎 ３節　表計算ソフトウェアによる開発 ４節　データベースソフトウェアによる開発	システム開発の流れについて学習する。		○	○			11
									60